



平成27年3月6日

各位

上場会社名 株式会社稲葉製作所
 代表者 代表取締役社長 稲葉 明
 (コード番号 3421)
 問合せ先責任者 上席執行役員経理部長 江口 勤
 (TEL 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年9月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年7月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年8月1日～平成27年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,430	990	1,090	600	34.17
今回修正予想(B)	14,185	430	540	280	15.94
増減額(B-A)	△245	△560	△550	△320	
増減率(%)	△1.7	△56.6	△50.5	△53.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年7月期第2四半期)	13,920	785	910	966	55.83

平成27年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,030	2,410	2,640	1,490	84.85
今回修正予想(B)	30,740	1,760	1,980	1,180	67.20
増減額(B-A)	△290	△650	△660	△310	
増減率(%)	△0.9	△27.0	△25.0	△20.8	
(ご参考)前期実績 (平成26年7月期)	30,756	2,403	2,639	2,012	115.43

平成27年7月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年8月1日～平成27年1月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,630	1,150	650	37.01
今回修正予想(B)	12,255	555	295	16.80
増減額(B-A)	△375	△595	△355	
増減率(%)	△3.0	△51.7	△54.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年7月期第2四半期)	12,303	981	1,017	58.73

平成27年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,630	2,560	1,460	83.14
今回修正予想(B)	26,220	1,880	1,130	64.35
増減額(B-A)	△410	△680	△330	
増減率(%)	△1.5	△26.6	△22.6	
(ご参考)前期実績 (平成26年7月期)	26,522	2,551	1,969	112.93

修正の理由

(1)連結

第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、鋼製物置セグメントではガレージシリーズ、イナバ倉庫等大型製品が堅調に推移したものの、物置全般としては消費税率引上げによる駆け込み需要の反動から、当初予想を下回りました。一方、オフィス家具セグメントでは売上は若干回復基調にあり、全体の売上高では前回発表をやや下回る見通しであります。利益面につきましては、新製品対応や各種プロジェクト対応から労務費などが増加し売上原価率が上昇、売上高が当初予想を下回ったこともあり、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初予想を下回る見込みであります。

通期につきましては、売上高面において鋼製物置セグメント、オフィス家具セグメント、共に今後需要期を迎えるものの、売上高は前回発表をやや下回る見通しであり、利益面におきましても、コスト削減に努めるものの、当初予想までに回復するには至らぬ見通しとなり下方修正するものであります。

(2)個別

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由で修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上